

# 卒業生の声



日本アイ・ビー・エム 株式会社  
TSS事業 西日本地区技術部 第二技術部  
プロダクトサービス・スペシャリスト  
西内 由美さん

西内さんは、阿南高専制御情報工学科を卒業後、企業での4年間の社会人生活を経て、阿南高専専攻科電気・制御システム工学専攻に入学されました。専攻科卒業後、日本アイ・ビー・エム株式会社に就職されました。

## ・ 主な職務内容は？

A. ハードウェア技術員。お客様の機械が障害（故障）を起こしたとき、コール（障害の連絡）がある。コールを受け、お客様にご連絡、日時の調整をして現場で修理することが基本業務となる。

担当のお客様の相談を受けたり、情報の整理、資料作成などをしたりして、どの技術員が行ってもスムーズに作業できるよう連携するとともに、保守サービスに関する契約ごとの提案なども行う。

対象機械はIBM製品ほぼ全て。サーバーとしては、一番大きなものがSystem zで、次いでPower Systems、Blade Center、System xなどがある。サーバーとそれに付属するディスク装置、テープ装置の修理をするが、入社2年目を目処に、いずれかのプロダクト（製品群）のスペシャリスト認定を目指す。

技術員は何でも屋な面もあり、お客様のご要望を満たすべく努力している。西日本地区技術部では、システム担当をされているお客様に対してセミナー（\*）を実施しているのが特色。お客様に一番近い部署でセッションできるのはすごく楽しい。辛いこともあるが、色々な人に会って話が聞けることが刺激になって飽きない。

## ・ こんな勉強をもっとしとけばよかったことは？

A. 学校で教えてくれるのはとても基本的なところで、社会で必要となるのはその $+\alpha$ のところ。基本がしっかりしていなければ、対応できない。いま要る、要らないで振り分けるのではなく、その時々に行えることを全てやるのが大切だと思う。

## ・ IBMを選んだ理由は？

A. 前の会社でソフトウェアのサポートをしていたが、現場に行くことがなく、お客様がどんな環境で、どういう風に使用されているか実際に見てみたかつ

たことと、ハードウェアも扱ってみたいかつたことから、職種としてQEを希望した。同じ仕事をするなら色々なことを試したいと考え、募集があった中で一番規模が大きい会社を選択した。

## ・ 高専の魅力は？

A. 高専は就職の面でとても有利だと思う。どこの企業も高専の扱いが特殊な分、優遇されている。多くの企業が高専用の就職枠を設けており、大学生よりも就職しやすい環境となっている。

高専生は年齢が若い、大学生よりと比べても劣らない。専門知識も十分あるし、若い分発想も柔軟で、人の話をよく聞くこともあり、優れた人材として扱ってもらえているように思う。

大学生よりも勉強期間は短いけれど、能力的には負けないという自信を持って社会へ出られる。

## ・ コミュニケーションについて

A. 一期一会の精神でやっている。お客様先にも、「絶対私のファンにさせてやる！」という気持ちで行く。西内なら何とかしてくれる、あの人には話しやすい、あの人にまた来て欲しい、と言われるような仕事を心がけている。

## ・ 働いていく上での目標は？

A. 何をしても目標がないと楽しくないし、達成感もない。朝起きて、今日わたしはこれをする！と決めるだけでもいい。短期、中期、長期の目標を一つ一つ、積み上げることが大切。

今の長期的な目標は、特定のプロダクトを「あいつでも問題が解決しないならよほどの重大障害だ」と言ってもらえるくらい精通すること。テクニカルを突き詰めるとアジアパシフィック全体のサポートになるが、できればそちらへ進みたいと考えている。

短期的には、基本ラインより全体的に上のレベルで、なおかつどこか飛び抜けていいところを作ること。普通に仕事して、言われた通り何年かやっていたらある程度のスキルはつくが、私はこれでやっていくという分野がなければかっこよくないし、かっこいいと言われるように仕事したい。

この会社は多くの情報が社員に公開されていることが良いところであり、やる気さえあればいくらでも勉強できる。プロもたくさんいるので分からないことは聞くこともできるし、伸びようと思えばいくらでも伸びる環境だと思う。

まだまだ先は見えないので、可能性をつぶさないように色々吸収したい。

#### ・ これから高専に入ってくる後輩にメッセージを

A. 普通科の高校に行くよりは高専のほうが良いと思う。自由時間も多く、高校や大学ほど制約が厳しくないため、独創性を育みながら、質の高い勉強ができる。卒業後の道も安定している、すばらしい学校だと思う。

ただ、染まりきると勉強しなくなることもあるので、ある程度自分の欲望をセーブしつつ、自分が将来どういう風になりたいか考えながら、日々を楽しんでください。

#### ・ 女子学生に向けて

A. 女子が少ないから、という人は向いていないだろうし、恐らく高専を選択しないと思う。

女子は少ないけれど先生もやさしくフォローしてくれ、女の子同士のコミュニティもあり、問題はなかった。むしろ数が少ない分、他の学科との繋がりが大きく、社会に出てセッションするのと同じで、自分の専門外で新しい知識として取り入れられるものが多い。

#### ・ 高専を選んだ理由は？

A. 学費の安さ、就職率の高さ（当時 120%）、授業の質の高さに魅かれた。

ここをちゃんと卒業すれば就職まできちんとできて、路頭に迷うことはないと思った。当時は早く働きたかった。

#### ・ 大卒資格を取るのと、取らないのはちがうのか？

A. そんなに変わらないと思う。少なくとも弊社は実力主義なので、キャリアに関して気にすることはない。

私は就職してから専攻科に入ったが、自分で働いたお金で入学したので本気で勉強することができた。一度卒業してから、必要と感じたら改めて勉強するのも良いのでは。

#### ・ 一番大変な仕事は？

A. 夜中の呼び出し。寒い日の午前 2 時など緊急対応で現地に向かい、外より冷たい風の吹くサーバーームで重い機械を扱うのは辛い。しかもなかなか問題が解決しなかったら大変。

#### ・ この仕事をしてよかったことは？

A. これをやったらなおるだろうと当たりをつけて試したらバッチリ！みたいな瞬間があることが嬉しい。お客様にありがとう！と感謝の言葉をもらえるときにやりがいを感じる。

また、常に新しい技術に触れられることもこの仕事のメリットだと思う。お客様の業種も多岐にわたるため、色んな業界の仕組みが垣間見えたり、情報が得られたりするの面白いところ。

#### (\*) 【追伸】

youtubeでIBM西日本地区技術部員の活躍を見ることができます。西内さんもいますので、関心のある方はご覧ください（下記アドレス参照）。

<http://www.youtube.com/user/MTSKansaiChannel#p/u>

